

# 明治学院大学

## 経済学部

経済学はお金儲けの学問じゃない？

人々が幸せになるための方法を学ぶ



明治学院大学経済学部長  
藤田 晶子 先生



明治学院大学は、160年前に海の向こうからやってきたJ.C.ヘボンによって創設されました。創立当時の面影を残す歴史的建造物の美しさと就職率の高さに定評があります。なかでも、特徴的なのが実践的かつ時代に応える教育プログラムを受講できる経済学部。経済学部では、どんな勉強ができるのでしょうか？今回は、経済学部長の藤田 晶子先生にお話を伺いました。

### Qはじめに、経済学とはどのような学問が教えてください

経済学とは、人・金・物の動きを対象とし、個人あるいは集団の生活と直結した学問です。「世界でなぜインフレが起きているのか？」「大学へ子供を通わせる理由は何か？」「どうして今日着てきた服を選んだのか？」といった社会現象や人々の行動の多くは経済学で説明できます。「人々が幸せなのかどうか、より幸せになるにはどうすればよいのか」を考え、望ましい制度や政策を探求する学問でもあります。

社会においては、経済取引だけではなく、さまざまな意思決定がされていくわけですが、意思決定の手法としても、経済学を使うことが可能です。最近では、社会のあらゆる事象を研究するのに役に立つ行動経済学が盛んに研究されています。従来の経済学では「人々は満足度を大きくすることを目的としていろいろな意思決定をする」と考えられてきました。しかし実際は、心理的なものや脳の動き、周囲の意見に大きく影響され、必ずしも自分の効用を最大化するために合理的な意思決定をするとは限りません。そうした意思決定について学ぶ授業として経済学部には「行動経済学」や

「実験経済学」があります。

### Q 経済学部だからできる、特別な授業を教えてください

「実験経済学」は明治学院大学経済学部だからこそ学べる特別な授業の1つです。実験経済学の特別教室には、学生の履修人数だけパソコンが準備されています。取引や選挙のようにある選択肢が与えられたときに、「どれを選ぶのか？」「選ぶ過程で、どのように意思決定をしていくのか？」「意思決定の要因は何か？」などについて、パソコンを使い、いろいろな人の行動を観察していきます。本人は気づいていなくても、意



実験経済学の講義風景。



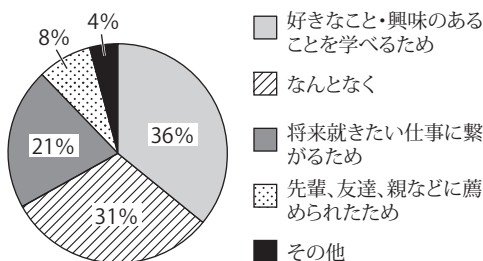
思決定には脳の働きなどさまざまな要素が影響し、それを具体的に明らかにしていくのが、実験経済学の授業です。実験対象者の脳波を見ながら、「人間はどのように意思決定していくか」について考えます。実験対象者から得たデータについては、どのように研究に活用するか、倫理委員会で確認したうえで実験を行い、研究に使っています。

ほかにも、日銀や野村証券、監査法人から提供される寄附講座を取り入れています。年金がもらえなくなるかもしれない時代において、資金の増やし方や投資分析のツールについて企業の方が教えています。社会人の方から知識や考え方の重要性を改めて学ぶことによって、学生は授業で勉強していることの重要性を再認識するようです。講座を受けると学生の授業に対する姿勢も変わってきます。

### Q 学生はどのようなことに興味を持って経済学部を選んでいるのでしょうか？

高校生の段階では「経済学とは何か」を理解するのは難しいようですね。「就職のときに役に立つ」というイメージで選ぶ高校生が多いと思います。経済学部には経済学科・経営学科・国際経営学科の3つの学科があります。

#### 経済学科を選んだ理由

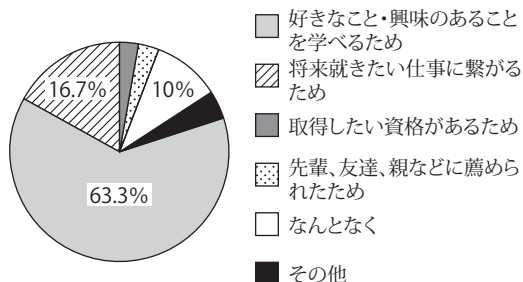


参考：明治学院大学 経済学部 Instagram

経済学科では、金融・財政・開発経済・行動経済・実験経済・経済史・環境経済など多様な科目を学ぶことが可能です。経済学には数学が必要というイメージから、数学を面白いと思っている学生は経済学部を選ぶようです。高校生のうちから経済学の具体的な内容を知っている生徒は少ないので、最初は「なんとなく選んだ」という学生が多いですね。しかし1年生の基礎科目でミクロ経済学やマクロ経済学を勉強しているうちに、どこかで経済学の面白さを感じ、「この道

に進みたい」と考えるようになります。経済学科は2年生になると4コースに分かれます。選んだコースによっては公共政策や世界経済論、開発途上国の経済を学ぶことも可能です。このように2年生の時点でもかなり専門的な勉強ができるので、自分の興味のある分野が明確になってきます。最近では、データに基づいて、現実の経済の法則性を浮き彫りにする「計量経済学」が学生に人気です。また、経済学を単に勉強するだけではなく、データを活用できるため、就職においても強みを発揮します。

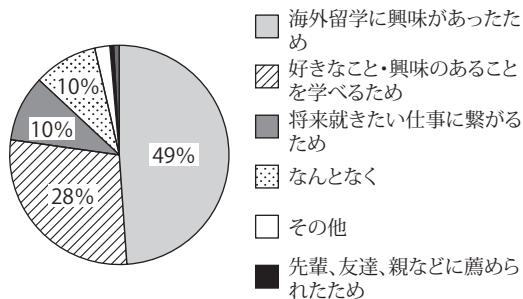
#### 経営学科を選んだ理由



参考：明治学院大学 経済学部 Instagram

経営学科では、経営学・マーケティング・会計学を学ぶことが可能です。マーケティングは学生に人気があり、マーケティングを学びたいからと経営学科に入ってくる学生は多いですね。城南信用金庫・三菱UFJ信託銀行・野村証券などのコラボ授業「経営学特講」では、理論と実務をつなぐ最先端の知を学べます。

#### 国際経営学科に入学した理由



参考：明治学院大学 経済学部 Instagram

国際経営学科では、1・2年次はビジネスの現場で必要とされる経済学、会計・ファイナンス、貿易について学び、2年次秋学期には原則全員留学をします。留学先は、イギリス、アイルランド、スペイン、カナダ、



2年生の秋学期から少人数制のゼミが始まる。国際経営学科は留学後から開始される。

アメリカ、オーストラリアなど多種多様です。留学後は、キャリア設計に合わせて、経営戦略、会計ファイナンス、貿易産業の3コースから選択できます。留学希望の学生は国際経営学科を選びますね。「国際的な仕事がしたい」「海外に駐在して仕事がしたい」といった、比較的グローバル志向をもった学生が入ってくるようです。

### Q 経済学部で学ぶために、受験生は高校でどんな勉強をしているといいですか？

まずは政治・経済は必ず身につけてほしいですね。ほかには英語・国語などの基礎学力も必要です。経済学科に関しては、数学を勉強していると、学習の幅が広がります。基礎学力があると、授業から深く学びを得ることができ、そこでの知識や思考が次につながると思います。

大学に入ったら1年生でどのような理論があるのかを学び、それをベースに、発展科目を2年生で学び、秋学期にはゼミを選んでもらいます。そこから、さらに発展した内容を学ぶことになります。

経済学は主に、経済取引における人々の行動要因を明確にする学問です。ミクロ経済学やマクロ経済学のような経済理論を基礎にして、「何を考えて人々は経済取引をしているのか？」などについて実験経済学や計量経済学の手法で明らかにしようとする学問です。

### Q 先生のご専門分野について教えてください

私は財務会計を専門としており、企業が開示している財務情報に基づき、そこから読み取れることについ

て教えています。会計は、学生にはなかなかとっつきづらい分野です。ですから、なるべく分かりやすい事例を出して教えるようにしています。例えば、最近では韓国の芸能事務所であるHYBEを題材に講義をしました。まずHYBEの売上が伸びている割に、株価が低迷していることを説明し、その理由を学生に問いかけます。そのうえで、財務データから見ると、実際とは違った姿が見えてくることを説明します。会計が分からない人を見ると財務データは数字の羅列にしか見えず、無機質な印象があるかもしれません。しかし実際、数字には1つひとつ意味があり、数字同士の相関関係もあります。表からは見えない企業の実態を学生には分かってほしいと思っています。

財務会計の授業で教えていることは、「どのように数値を作るか」「できた数字をどのように分析するか」「企業の中でどのように数字を使って意思決定につなげていくのか」の3つです。学生が1番興味を持ってくれるのは、「数字を使ってどのように企業の経営を読み解くか」ですね。ヒット商品を出して、マーケティングがうまくいっているように見えたとしても、実はうまくいっていない企業はたくさんあります。それが見えてくることによって、投資先を選択できます

## 大学 NEWS TOPICS

### 日本橋の老舗と連携しPRに協力

国際経営学科には100年以上事業活動が続けてきた日本橋の老舗を対象とした「老舗プロジェクト」という授業があります。「なぜ事業を続けることができているのか」「今のグローバル時代にどういう取り組みをして生き残ろうとしているのか」を研究し、それを発信していくプロジェクトです。中央区の商工会議所と連携して、実際に学生を日本橋の老舗に連れていき、いろいろな経営者にインタビューを行います。その内容は動画にしてお店のPRに活用します。動画の編集も学生たちの手で行われますが、必ず海外の人が見られるように全部英語に翻訳しています。自治体と協力しながら老舗のグローバル展開について考え、認知度を上げたり、海外展開したりするために協力することがプロジェクトの目的です。学生たちの熱意が伝わり、企業側も非常に好意的です。



し、商品も選別することができます。もちろん、ここで得た分析力は就活にも役に立ちますね。

## Q 卒業後はどんな進路がありますか？

通常の企業への就職が1番多く、とくにITや金融関係が多いです。国際経営学科は商社に就職する学生もいます。昔は金融が1番多かったのですが、最近では多様な分野に分散するようになりました。それ以外では、大学院進学や海外留学、公務員などさまざまな進路があります。今では、学生時代から起業したり、卒業後に起業したりする学生が出てくるようになりました。Webマーケティングやファッション、商社など多方面の分野で活躍しています。

卒業と同時に起業したある学生は、メディア関係のWebマーケティングに関する事業を立ち上げ、まだ20代でありながら、かなり利益を上げているようです。そのような学生は、学生時代から自分のやりたいことを明確にもっており、授業中も積極的でしたし、卒業後の進路もよく考えていました。何事にも積極的だった学生ほど、卒業後もしっかり自分の足で歩いているようです。

## Q 受験生に向けてメッセージをください

明治学院大学の特徴というのはキリスト教にありますので、健全な心を持って社会に貢献してほしいと思っています。ボランティアではなくても、営利でもいいと思いますが、社会への貢献を軸をもって仕事をしてほしいですね。ミッション系であることが、学生の行動の指針にもなっています。本学のキャッチコピーは“Do for Others（社会貢献）”。特別意識していないようですが、優しい学生が多いと思います。いろいろな価値観を受け入れる寛容性をもっていることが明治学院大学のカラーです。

このような価値観は企業でも評価され、「日経キャリアマガジン 価値ある大学就職力ランキング2024-2025」で、総合ランキングでは全国12位になりました。側面別ランキングでは、行動力が全国9位、対人力が全国4位、独創性が全国8位です。そうした結果から、コミュニケーション力が高い学生が多いのではないかと考えています。

受験生の方に伝えたいのはなんでも好き嫌いせずに学んでほしいということです。専門分野だからと敬遠せずに興味を持ったら全部やったほうがいいですね。



都内有数の美しいキャンパス。敷地内にはチャペルがあり、礼拝やパイプオルガンの演奏会も開かれる。

2023年に経済学部では、経済・経営のためのデータサイエンス教育を新設いたしました。指導しているのはデータ解析著名企業です。生のデータを使い、経営者の意思決定について計測する場合のデータ加工法について学べます。明治学院大学には、ほかにも社会人講師から学べるさまざまなメニューがあります。ぜひいろいろなことにチャレンジして、自分に興味があることを見つけてください。



## 大学 NEWS TOPICS

### 明学卒業生たちのリーダーシップ

経営学科の取り組みとして、明治学院大学卒業生たちによるリーダーシップ講義を開講しています。必ずしも経済学部出身者だけではありませんが、社会で活躍している卒業生たちが、どのように社会でリーダーシップを発揮しているかについて、学生に講義をしています。

例として、文系でありながら、自律移動型ロボットの開発、協働ロボットシステムインテグレーションを中心に事業展開されている会社経営者がいました。他のベンチャー企業と競合しないように、ソフトウェア開発の技術を強みとして電気制御回路開発、マイコン開発、メカ設計などさまざまなロボットビジネスに取り組んでいます。また、大企業が参入しそうな市場向けロボットは作らないように、市場を細分化しニッチなニーズに応えようと挑戦しています。